

第2回 知立市まちづくり委員会 議事録

開催日時	令和3年5月13日(木) 18:30～19:50	
開催場所	中央公民館2階中会議室	
出席者	石原・伊藤・杉山・楠・服部・阪野	
欠席者	なし	
今回の議題	・コロナ禍での今後の委員会運営について ・やりたいテーマに対する再討議	
会議資料	・知立市民版まちづくり計画	
会議概要	コロナ禍での今後の委員会運営について	新型コロナ感染対策として夜間の会合時間が実質1時間ほどしか確保できなくなった。今後の見通しも不透明であり、今年度の委員として方向性を意見交換した。 ・平日は仕事等、各委員の事情があるため昼間開催は不可能。 ・遠方に在住の委員もいるため休日昼間の開催は難しい。 ・新型コロナの影響が見通せないため、イベント等の試行も年内は出来ないのではないか 【各委員への確認】来年度も引き続き委員会への参加が可能か？ 6名中5名が可能、1名は未確定 ・運営については最大限の努力をしつつも、試行・活動については来年度に延期することも考慮に入れ進行する。
	やりたいテーマに対する再討議	◆かきつばたの保存活動 ・この活動を実行するにあたって、カキツバタの定植活動を小中学校の生徒さんに体験してもらうとなれば、学校教育委員会に可能かどうかを聞いてみてはどうか？ ・各学校の学校長に直接申し入れてもよいと思う。 実際に南小では稲作を題材に自身が植えた米を育てたりしている。 ただ、育成期間が3年ともなると実現が難しいか？ ・継続は可能か？→既存の保存会に事業委託することで可能だと思う。 ◆マルシェの開催 ・近隣市ではマルシェと絡め、音楽演奏があったりお客さんを引き付けるものと一緒に行われている。なにか、お客さんを確保できるようなものがないと、集客は難しいのではないか。 ・実現するにあたって、具体的な展開方法を考える必要がある。 来場者用の駐車場一つとっても、場所の確保や誘導員の配置など、クリアすべきものをあぶりだす必要性がある。 ・カキツバタの保存のイベントと絡めることは可能だと思う。無量寿寺で行われているカキツバタ祭りとはほとんど変わらない。 ◆知立伝統遺産の周知活動 ・松並木でできるといいが、国道一号線の側道なので通行止めは難しいのでは。以前は駅前を全面的に通行止めにしてお祭りをやっていた。可能かどうかは警察の判断にもよる。 ・知立の魅力を歌い上げている、「アンパンマン」の作者のやなせたかし先生が歌詞を書き、歌唱している「知立はともだち」という曲があるが、誰も知らない。 https://www.youtube.com/watch?v=Zh4_ySZYXys ◆まちづくり委員会をあるべき姿にしたい ・市長に任命され委員を拝命したが、内容は委員というよりボランティア。

		行政の参加も予算付けも無い状況下で、まちづくり計画にあるような活動は困難。
グループLINEからの記録	会合時間の制約で討議しきれなかったテーマ(グループLINEで挙げられたテーマ)を本議事録に残します。 ◆地域未来塾のようなシステムの構築 ①委員会テーマとの紐づけ ・次世代を担う子どもを豊かに育むまちづくり ②やりたい根拠 ・少子高齢化を防ぐのは不可能でも、SDG'sの理念である「誰ひとり取り残さない」子育てを目指し、知立市で活躍できる人材を育てるサポートシステムを作りたい。 ③実現性の裏付け(内容省略) ◆市民まちづくりイベント&地域公民館イベントツアー ①委員会テーマとの紐づけ ・知立駅を活かした魅力あるまちづくり ・市外の人を訪れたいまちづくり ・住民の手でまちづくりを進める知立づくり ②やりたい根拠 ・市内ボランティアグループや各地区生活支援コーディネータとの連携強化 ・市内ボランティア団体のPR ・在宅高齢者に楽しみ機会を作り、地域住民の心身の充実に寄与する ③実現性の裏付け(内容省略) ◆子どもたちの学び合い教室 ・夏休み等の課題(工作や作文など)を上級生、下級生、大人や学生が教え合って楽しく過ごせるやる場所づくり ・資本となる人や費用、万一事故があった場合の対応等の課題がある ・やりたいと思ってもどの世代も忙しく、同じ情熱を持った人が集まらなると難しい	
決 定 事 項	次回開催日・開催場所はグループLINEを使って調整する。	
課 題	・「やりたいテーマ」は出揃ってきたが、実現に至るまでに必要なリソースと現状環境との突き合わせが不十分。 ・新型コロナ感染症対策により、会合開催時間が縮小され、議論不足が懸念される。	
次 回 の 議 題	挙げられた各テーマに対し、実現性を議論することで委員会の方向性をまとめて行く。 活動のボリュームと状況を再確認し、活動期間を再協議する。	